

地方力

発行：前野弘明後援会
 岩国市通津一九五一の一〇
 岩国市由宇町四四六〇番地
 三九〇〇〇七&六三二一三三七九
 編集：岡崎康司

新緑が目に見える美しい時節となりましたが、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨今の情勢は政治主導といいながら、政治理念がない指導力不足の政権に茫然自失の方も多いに違いないと思います。

私は「地方力」で地方再生、その基盤は家庭再建にあると主張してきました。

今年からその内容を「真自由主義宣言」に託して、誰もが持つべき基本姿勢を記しました。

そこで、具体的に実施する事によって着実に前進する処方箋を「江戸しぐさ」で組み立てて行こうと考えております。そういった点で、この度面高会起案、江戸しぐさ実行委員会主催の講演会に大きな期待を寄せていきます。

世界に稀な二百年以上続いた江戸時代には、今後の宇宙船地球号の平和創出へ

のヒントが沢山あるはずで
 岩国市議会議員 前野弘明

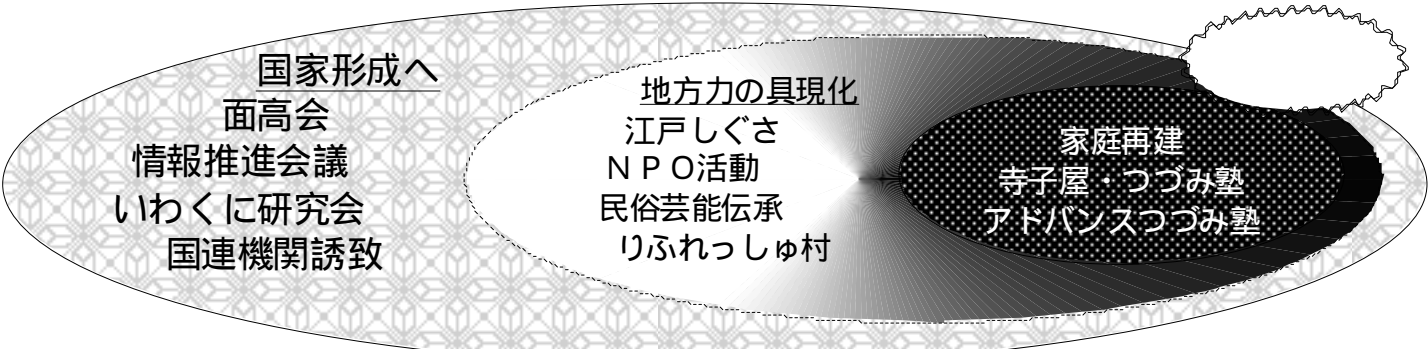


真自由主義宣言

- 一、言動に責任を持つ（知行合一）。
- 二、公私（個と全体）両面の目標明確化、目的達成をする。
- 三、原則・道理に基づく総合的判断をする。
- 四、理想家庭を基盤とし、道義国家を実現する。

いわくに再建宣言

- 一、真のボランティア活動による自主自立の精神を養う。
- 二、「いわくにしぐさ」を興し、思いやり社会を実現。
- 三、自然や歴史を大切に、新文化創造と人材育成に励む。



天地人志

「甘えのない人間に」
 相田みつをカレン
 ダーに「その場がこ
 なけりゃあわかん
 い」というのがある。
 私も地域の方々と
 仕事をしたり、立ち
 話をしたり、家内の介護
 を含め病気をしている人、
 病人を抱えた家族の方
 ちの話の聞いたり噂を耳
 に入れることがある。

そんな話の中にニート
 とかフリーターなど仕事
 についていない人たちの
 ことを漏れ聞いたことが
 ある。彼らに仕事のアド
 バイス、紹介をするのだ
 が本人は自分の嗜好とい
 うか自分のやりたいこと
 を表に出し折角の好意を
 受け入れない人がかなり
 あると聞く。

日本の社会は厳しいと
 か生活が苦しい、就職が
 難しいとニュースで報じ
 ているが、冷たい言い方
 を敢えて言うなら日本は
 甘えがまだ通じる社会で
 はないかと思う。昔をよ
 しいというのではないが農
 業生活など汚い、苦しい
 生活いわゆる3xに不平は
 あつただるうけど歯をく
 いしばつて日本を支えて

きた。現在はホワイトカ
 ラー的な生活ばかり憧れ
 て自ら手を汚し泥汗を流
 して生き抜こうとする、
 いわば「おしん」の心意
 気が失われているように
 思われる。そこでニュー
 など世界の生活を見ると
 私たち日本人の生活より
 比較にならない過酷な生
 活をしている国や人々が
 報道されている。その人
 たちの発する苦しみの声
 は日本人のそれとは大き
 な開きがある。それでも
 生き抜いている。

私たちは目先のことに
 だけ目を向けるのでなく
 大げさかもしれないが、
 自分が日本を支え、世界
 の日本にするために汗を
 流さなければならぬ。
 この姿を子供に伝えな
 ればいけないという心骨
 の精神を持たなくては
 いけないと思う。
 面高会会長
 森山 梭一

